

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和 3 年 12 月 27 日

2. 認定事業適応事業者の名称

大八化学工業株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

当社は昨今の温室効果ガス削減を目的とした企業努力が求められる社会情勢等を鑑み、懸案であった国内主力工場（福井工場）の燃料である重油を液化天然ガス（LNG）に転換し、CO₂排出量削減に向けた設備投資を実施していくことを目標とします。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

福井工場の炭素生産性を 21.0%向上することを目標とします。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2023 年度（計画終了年度）に経常利益を計上する事を目標とします。

(4) 事業適応の種類

③エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

化学工業（16）

（選定の理由）

当社が営む事業は化学工業薬品の製造販売、不動産業ですが、今回の対象となる事業は、化学品の製造業に対するもののみであるためです。

(6) 事業適応の具体的内容

計画初年度（2022 年 1 月末）、当社の主に難燃剤、可塑剤を製造する福井工場において、CO₂排出量削減を目的とした燃料である重油を LNG に転換するための設備（主要なものとして、LNG サテライト設備、蒸気ボイラー設備、並びに、その附帯設備である高圧受電盤設備等、燃料転換に伴う関連設備一式）を導入します。

計画 2 年目（2022 年度）に、LNG への燃料転換に係る設備を、年間を通して順調に移

働させることにより、従来の重油を燃料にしていた時より、CO₂排出量を大幅に削減することが可能になります。

さらに、2023年度（目標年度）に、工場全てのボイラー設備の燃料転換計画が実現されると、重油を使用していた時に比べ、約18%のCO₂排出量の削減が可能になり、炭素生産性を向上させることに繋がります。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2022年1月、終了時期 2024年3月